

図書館からのお知らせ

◎第171回直木賞・芥川賞が決定しました。芥川賞には朝比奈秋さんの「サンショウウオの四十九日」、松永K三蔵さんの「バリ山行」の2作品。直木賞には一穂ミチさんの「ツミデミック」が選ばれました。他、ノミネート作品も取り揃えております。どうぞご利用ください。



図書館

だより

令和6年9月号
VOL.224



編集・発行

坂町立図書館

〒731-4314

安芸郡坂町坂西一丁目4番16号

TEL082-886-3280

FAX082-885-2471

利用案内

- 開館時間
火～金 9:00～20:00
土・日・祝 9:00～17:00
- 貸出
本、雑誌
ひとり5冊15日間
CD、ビデオ (DVD)
ひとり2点15日間

日の目を見ない本 ～どなたか手に取ってみませんか？～

せっかくの良書なのに、購入してから誰にも借りてもらえていない本を紹介します。気になるものがあれば、ぜひ読んでみてください。

今回は3類・社会からです。

児童書



『わたしのコミュニティスペースのつくりかた』
土肥潤也／著
ユウブックス
自分流コミュニティスペースづくりのガイドブック。イメージづくりからオープン準備、運営までの困りごとにQ&Aで答えるほか、全国のコミュニティスペース運営者の体験談、軌道に乗せるまでのハウツウなどを収録する。



『古代の食を再現する』
三舟隆之ほか／編
吉川弘文館
古代日本人は食べ物をどう加工し、調理していたか。「正倉院文書」から土器、木簡までを総動員し古代食を再現。古代日本人の食生活や、病気との関係を明らかにする。オンライン開催の2020年9月のシンポジウム討論も収録。



『話したくなる世界の選挙』
コンテックス情報研究所／編集
清水書院
オーストラリアでは、100年近く投票率が90%を超えている!? タイでは選挙期間中、お酒を飲んではいけない!? 世界の選挙にまつわる話を、誰かに「話したくなるランキング」形式で紹介する。選挙の基礎知識も収録。

編集後記：

1年の2/3が過ぎました。体力・気力共に衰えてきているのを実感するのが、読書量です(自分比)。本を手に入れてから読み終わるまでに「積読」期間が介入するようになりました。重い内容だと特にその傾向が強いように感じます。読んで消化するまでに時間がかかるんですね。だからなかなか手が出ない。残り4カ月、何冊読めるかなあ。あ、暑い時期の怪談本は別腹です。いくらでも読める。

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

休館日

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日

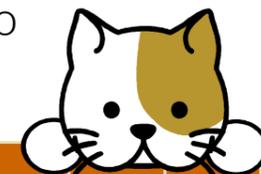
おはなし会

絵本の読み聞かせや紙しばいなどを行います。おはなしの世界を通じて、親子でふれあい、楽しい時間を過ごしましょう。

★ 9月19日(木) くれよんグループ

★ 9月26日(木) にここグループ

じかん 10:30～11:00



折り紙体験コーナー

9月18日(水)

10:30～11:30

坂町立図書館 多目的閲覧室

★ 菊

※ 持ってくるもの

- ・ おりがみ
- ・ はさみ
- ・ のり
- ・ サインペン

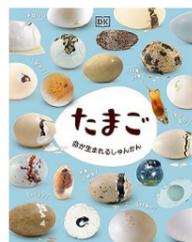
今月のオススメコーナー (テーマ) 『眠れない夜の過ごし方』

9月のオススメ図書コーナーは「眠れない夜の過ごし方」です。まだ暑さは厳しいものの、夜の時間が伸びてきたこの季節。早く寝るべきか、まだまだ起きているべきか…。そんな夜は星空を眺めたり、昆虫採集をしたり、夜の静けさを楽しむなんてことはいかがでしょうか。眠れない皆さんにぴったりの本が見つかりますように。



この本、おもしろいよ

児童書

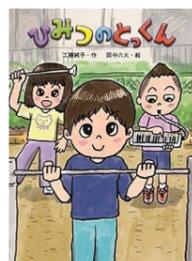


たまご 命が生まれるしゅんかん

ドーリング・キンダースリー社編集部企画・編集

水島ばぎい (みずしま・ばぎい) 訳 BL出版

鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、軟体動物…。どのたまごのなかにも、小さな命がある。命が生まれる瞬間を、たまごの様子を時系列で追った写真で紹介する。



ひみつのとっくん

工藤純子 (くどう・じゅんこ) 作 田中六大 (たなか・ろくだい) 絵 金の星社
体育が大嫌いなぼく。しかも今日は、一番苦手なさがあがり。鉄棒を握って地面をけるけど、何度やってもできない。先生が体育着の半ズボンを引っぱったら、なんとかできた！でもおしりが丸見えになっていて笑われて…。



トドにおとどけ

かのうかりん絵 大塚健太 (おおつか・けんた) 作 パイインターナショナル
トドさんに誕生日ケーキをとどけることになったカモメさん。ところが、おうちから出てきたのは、トドさんによく似たアシカさん。次に出てきたのも、これまたよく似たアザラシさん。やっとトドさんに会えたと思ったら…。

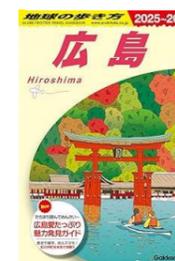


うみへ やまへ

三浦太郎 (みうら・たろう) 作 偕成社

〇がつ×にち。「ぼく」は家族で白い車に乗り、父の生まれた海辺の町へ。「わたし」は母の生まれた山の家へ…。前から読める白い文字の話「うみへ」と、後ろから読める赤い文字の「やまへ」を収録。2つの話が楽しめる絵本。

一般書



地球の歩き方 J15 2025~26 広島

地球の歩き方編集室編集 地球の歩き方 Gakkenn (発売)
広島県各地をじっくり旅したい人のために、広島県全23市町の魅力と情報をまとめたガイドブック。旅の準備と技術も掲載する。取り外せる別冊マップ付き。データ：2023年10月~2024年5月現在。



ガングロ族の最期 ギャル文化の研究

久保友香 (くぼ・ゆか) 著 イースト・プレス

かつて渋谷には、ヤマンバと呼ばれた、極端に肌を黒く焼いたガングロ・ギャルがいた。彼女たちはどのようにして生まれ、消えていったのか。戦後日本のメディア環境と日焼けスタイルの歴史からギャル文化の源流を読み解く。



それでもなぜ、トランプは支持されるのか アメリカ地殻変動の思想史

会田弘継 (あいだ・ひろつぐ) 著 東洋経済新報社

トランプはなぜ、またアメリカ大統領選に戻ってくるのか。トランプ現象の本質を最も早く見抜いたアメリカ・ウォッチャーの第一人者が、建国以来の保守思想を源流に遡りつつ、彼の強さの理由を探る。



いなくならなくなるしないで

向坂くじら (さきさか・くじら) 著 河出書房新社

死んだはずの親友・朝日からかかってきた一本の電話。時子はずっと会いたかった彼女との再会を喜びが、「住所ない」と話す朝日を自宅に招くといつしか家に住み着いて…。『文藝』掲載を単行本化。

予約ベスト3

◆一般書

- ・「クスノキの女神」
- ・「ツミデミック」
- ・「赤と青のガウン」

東野 圭吾 / 著
一穂 ミチ / 著
彬子女王 / 著

◆児童書

- ・「ぼくがラーメンたべてるとき」
- ・「あさがお」
- ・「がっこうにまにあわない」

長谷川 義史 / 作絵
荒井 真紀 / 文絵
ザ キャビンカンパニー / 作絵